
Press Release

直読式水道メーターをスマート化する漏水検知機能付き OCR アタッチメントの開発 ～既設水道メーターを活用した水道事業のDX化を推進～

azbil グループのアズビル金門株式会社（本社：東京都豊島区北大塚 1-14-3 社長：上西正泰、以下アズビル金門）は、東芝インフラシステムズ株式会社（本社：神奈川県川崎市、以下東芝インフラシステムズ）、株式会社日本ウォーターソリューション（本社：東京都新宿区、以下日本ウォーターソリューション）と共同で、既設の直読式水道メーターに取付けが可能な漏水検知機能付き OCR*アタッチメントの開発をいたします。

水道メーターのスマート化は、検針業務の効率化をはじめ、漏水の早期発見、老朽化した設備や管網の管理、配水運用および災害時の迅速な対応、使用量の見える化や見守りといった水道利用者へのサービスの向上など様々な効果が期待されています。その一方で、通信機能付き水道メーターの導入コスト、検定満期を迎えるまでの期間など様々な課題があります。

開発する漏水検知機能付き OCR アタッチメントは、以下のような特徴があります。

- ・既設直読式水道メーターに取り付けることでメーターのスマート化ができます。
- ・既設直読式水道メーターの検定満期時期にかかわらず、難検針箇所や老朽管敷設箇所などから直ちにスマート化を始めることができます。
- ・内蔵されたカメラでメーターの数値表示部を撮影し、OCR 機能によりデータ化し、8 ビット電文出力ができます。
- ・内蔵された振動センサがメーターに伝播する配管の振動を捉えて、漏水の可能性を検知します。

3 社の役割は以下の通りです。

- ・アズビル金門：開発・検証のマネジメント、通信機能支援
- ・東芝インフラシステムズ：検針機能、漏水検知機能、無線機との通信機能の開発、及び基板開発
- ・日本ウォーターソリューション：漏水検知機能パラメータ調整支援、漏水データによる管路マネジメント検討

当社は azbil グループの理念である「人を中心としたオートメーション」の下、時代の変化に対応しつつ継続的に SDGs に取り組み、事業を通じた社会課題の解決、さらなる持続的な成長、企業価値の向上に努めます。



漏水検知機能付き OCR アタッチメントを直読式水道メーターに取付けたイメージ

*光学文字認識 (Optical Character Recognition)

手書きや印刷された文字をイメージスキャナやデジタルカメラによって読み取り、コンピュータが利用できるデジタルの文字コードに変換する技術

■ 製品・サービスに関するお問い合わせ先：

アズビル金門株式会社 営業本部 水機器営業部 (担当：田村/梶原)

電話番号：03-5980-3746 FAX：03-5980-3753

■ その他報道関係からのお問い合わせ先：

アズビル金門株式会社 経営企画部広報グループ (担当：福田/宮田)

電話番号：03-5980-3731 メール ak-publicity@azbil.com

当社ホームページ <https://ak.azbil.com/>